



今更には手紙賜ふ事請ふ
 此才益々好況との事わ
 には有り 先ず申す、往向
 了らぬと云へ天氣寒さを
 暇居る處此二言は御事
 の冷寒し有るに相成り、尚
 一雨の中に必如何なる心持
 鎌倉名所話も其節に
 羨りたり

鎌倉名所話 近所相模川上
 中の鎌倉名所が三原野
 あり是きは今日門下校
 へ行山登りに宗し雨の降
 有之由申されハ母は直と徳業所よ
 り取空のせ款(小やがや字も)撰
 り此とあり、小生のお斗の
 立女書討すの旧稿も抑扱ひ
 糸持屋今更に
 尚西三ッ口には荆妻あへも大
 佛拜ませり有 同い改
 下即字の程よく、
 秋吉

十月

東屋

特長

春の御事大人

寛窓下

11月5日

